

結果のまとめ

平成25年度学校評価
『教育活動アンケート』

生 徒
保 護 者
職 員

宮城県石巻商業高等学校
〒986-0031 石巻市南境字大樋 20 番地
電話(0225)22-9188
Fax(0225)22-9189
<http://www.sekisyo.myswan.ne.jp>

アンケート調査分析結果

学校評価アンケートは、「そう思う」「大体そう思う」を肯定的な意見とし、「あまりそう思わない」「そう思わない」を否定的な意見として分析しました。

今年度のアンケートでは新たに、いじめの問題に対する項目、「日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる」が追加されました。この新たな質問項目と「生徒にとって本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある」を除く、すべての項目が70%以上の肯定的意見でした。

高大接続研究事業に関しては、ここ数年アンケート実施時期をずらして実施した結果、11月中旬だと55%、12月中旬だと60%、1月中旬だと58%と変動しています。また、学年ごとの肯定的意見が高い割合も12・1月中旬では、3・2・1年生の順番に高いのですが、11月中旬では、1・2・3年生と逆転します。このような結果から3年生の進路活動時期、1・2年生の進路行事との時期的なものにより数値が変動していることがうかがえます。この質問の主旨は、自分の進路に高大研究事業が関係あるかを問うものではないので、来年度に向けて、質問項目の可否を含めて、この文言の検討をしていきたいと思えます。

肯定的な意見の中で、80%を超えた質問項目は、以下のとおりです。

- 「生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。」 91.3%
- 「学校として、部活動は活発に行われている。」 88.1%
- 「生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。」 86.1%
- 「生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。」 84.7%
- 「保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。」 84.1%
- 「自分にとって、学校生活は充実している。」 83.1%
- 「自分にとって、有意義な学校行事がある。」 80.1%

ここ数年、アンケートの結果は改善傾向にあり、上位に入ってくる項目も定着し、肯定的意見は質問項目の約半数が80%を超えるようになりました。しかし、生徒・保護者・教員間で数値にギャップも見られ、このアンケートだけでは見えない部分があるのではないかと危惧するところでもあります。保護者は、子どもを学校に預かってもらっているという心理状況から、その意見が数値には反映されていないものがあるのではないかと考え、そこで自由記述欄で気になるコメントを抜き出してみました。コメントで要望が一番多かったのは、通学路の整備でした。これについては学校では改善できないため、石巻市に要望を出しています。次に気にかかったのは、「保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている。」の項目については、アンケートを始めてから50%前後だったものが、80%台までに改善されているにもかかわらず、学校生活などの生徒の様子が分かるようにクラスや学校から学級通信・学校通信時を使った情報を求める意見が多かった点です。保護者によって必要な情報の内容や量が異なることを表しているのだと思われまます。このことについては、学年で検討し対応したいと思えます。

今年度新たに追加された項目である「日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる」については肯定的意見が66.9%と低く、しっかりと対応しなければならないことを再確認しました。また、昨年度から「いじめ等総合対策委員会」のほかに別室登校関係者会議を設けるなど、震災による心理的な影響も加味して精神的な面からも支えられるような体制をさらに継続していきたいと考えています。

アンケートの数値で分析すると、今年度も、「生徒は部活動や授業を通し目標に向かって努力することによって、精神を安定させ、生活基盤である、挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の重要性を意識することにより充実した学校生活を送れている」と非常に良い分析結果でしたが、このような時にこそ、本校では組織力を高め、より良いバックアップ体制を整えて行く所存です。

アンケート項目別集計結果

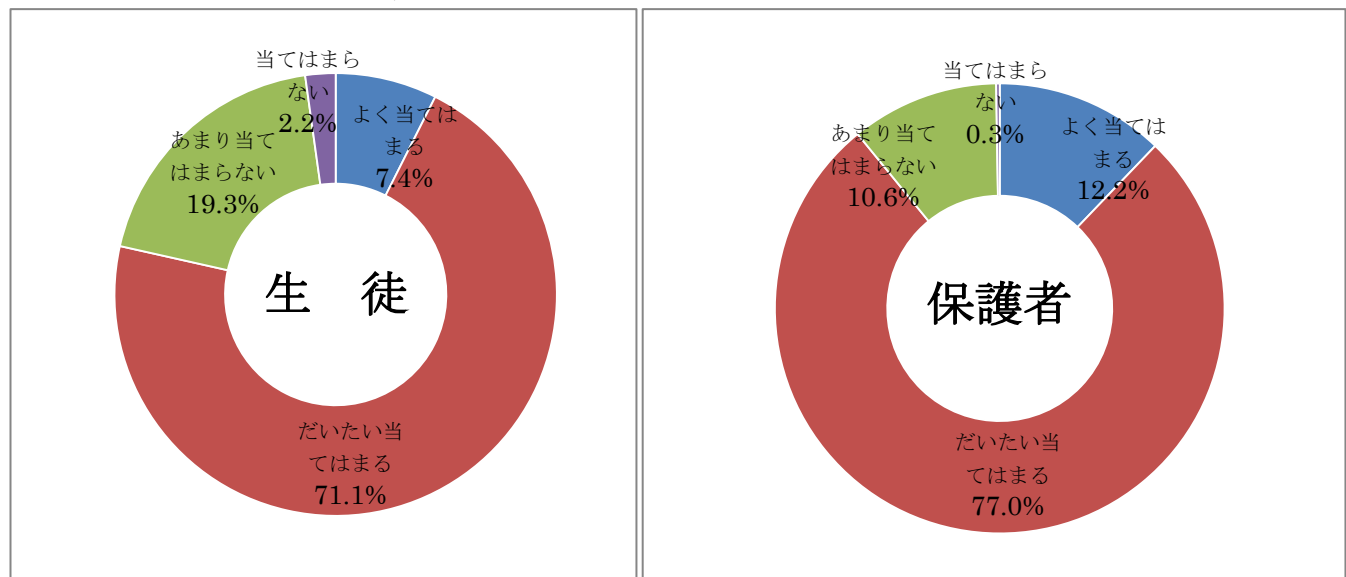
| | 質 問 項 目 | 生 徒 肯定票 | 保護者 肯定票 | 教職員 肯定票 |
|----|--|------------|------------|------------|
| 1 | 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行なわれている | 78.5% | 89.1% | 72.7% |
| 2 | 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行なわれている | 91.4% | 91.9% | 86.4% |
| 3 | 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行なわれている | 86.1% | 84.3% | 81.8% |
| 4 | 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている | 80.7% | 85.3% | 88.6% |
| 5 | 学校として、部活動は活発に行なわれている | 88.2% | 90.4% | 72.7% |
| 6 | 学校として、生徒会活動は行なわれている | 84.9% | 89.9% | 72.7% |
| 7 | 自分にとって、有意義な学校行事がある | 80.1% | 90.1% | 90.9% |
| 8 | 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる | 78.1% | 81.5% | 43.2% |
| 9 | 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている | 84.7% | 80.8% | 81.8% |
| 10 | 保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている | 84.1% | 79.2% | 45.4% |
| 11 | 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている | 74.2% | 72.6% | 36.4% |
| 12 | 日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる | 66.9% | 63.5% | 75.0% |
| 13 | 自分にとって、学校生活は充実している | 83.1% | 90.4% | 72.7% |
| 14 | 生徒として、本校と石巻専修大学の高大接続研究事業は期待感がある | 58.2% | 53.6% | 22.7% |

学習活動について

本校では、生徒の希望進路を実現するために次のような教育活動を実施しています。一年次では一般教科と基礎・基本的な商業科目を学習します。商業科目においては二年次から実施される進路に応じた類型(コース)を選択するため、商業科目に関する基礎・基本となる学習を行っています。

「学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている」という質問項目では、平成19年度から、57%、67%、61%、58%、59%、71%、今年が76%でした。

質問No.1. 学ぶ意欲を引きだし、学力を身に付けられるような授業が行われている。



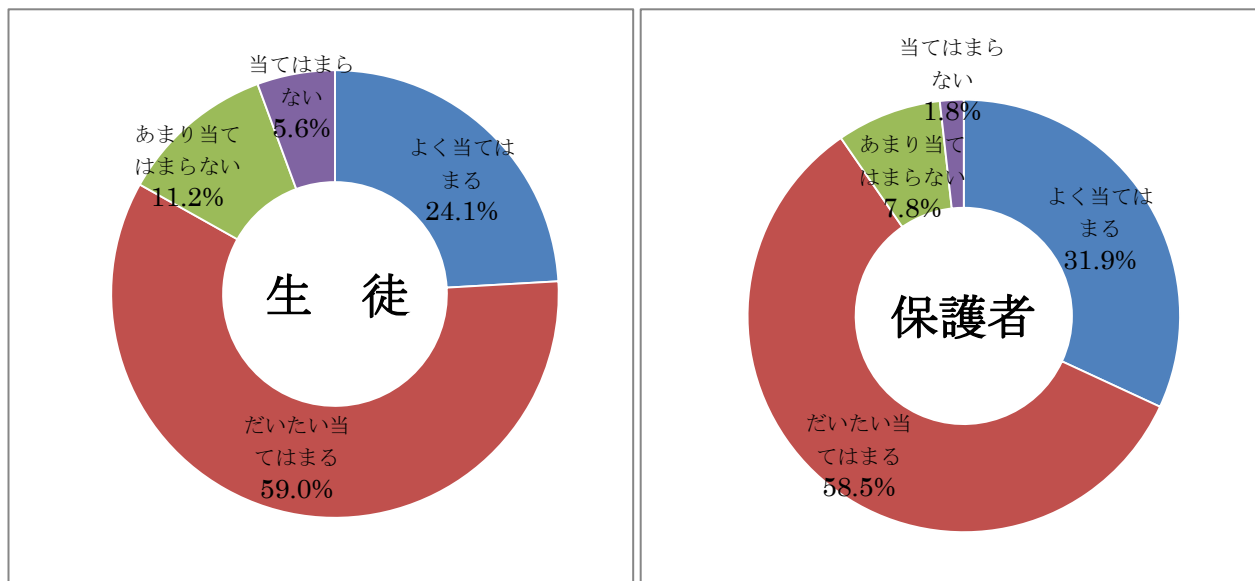
生徒指導について

生徒指導に関しては、「学校生活は充実している」という質問項目では、生徒 83%・保護者 90%と高い評価を得られています。この要因として着目した項目は次の4項目が挙げられます。

- | | | |
|-------------------------------------|--------|---------|
| ○ 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている | 生徒 91% | 保護者 92% |
| ○ 生徒会活動は行なわれている。 | 生徒 85% | 保護者 90% |
| ○ 部活動は活発に行われている。 | 生徒 88% | 保護者 90% |
| ○ 有意義な学校行事がある | 生徒 80% | 保護者 90% |

これらのことから、社会生活に必要な自主・自立の精神が形成され、また学校行事などが生徒の心身の育成を支えていることが分かりました。

質問No.12. 学校生活は充実している。



進路指導について

厚生労働省の調査によると、平成 24 年 11 月末の高校生の全国就職内定率は 79.2%ですが、本校では 11 月末時点で 72.9%と全国平均を下回っていますが、2 月末現在では 94.2%と伸びています。他の進路内訳としては、公務員が 8 名、四年制大学 30/31 名 (国立大学 1 名)、各種専門学校 52/56 名であり、全体の進路決定率は 93.1%となっています。

質問No.3. 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

